

JSS Scholarship



2018 JSS スカラシップドライバー小倉祥太選手の参戦レポート

FIA-F4 選手権 第5/6戦 鈴鹿サーキット

参加台数35台



予選 第5戦13位 第6戦12位 天候:晴れ 路面:ドライ

5月19日

前夜に降った雨の影響で路面に所々ウェットパッチが残る中、予選がスタートした。走り出しから一気に攻めるとタイヤの垂れが早く、持ちも悪くなるため、ゆっくり熱を入れることを意識して5周目からアタックを開始する。途中クールダウンを入れつつ5周のアタックをした。5周目に記録した7秒775がベストタイムとなり13位、10周目に記録した7秒836がセカンドベストタイムとなり12位という結果となった。

第5戦 決勝レース 天候:晴れ 路面:ドライ 順位:33位

5月19日

グリッド降格の車両があり繰り上がり12番手からのスタートとなる。スタートは良く1コーナーまでに2台を抜きオープニングラップを10番手でクリア。車はリアが動きにくいアンダーステア症状のためS字やスプーン出口では苦しい状況が続く。4周目スタート後追い上げてきた98号車を抑えきれず1コーナーでアウトから抜かれる。またシケインの出口でミスをしてしまい、39号車にもストレートで先行を許してしまう。しかし、その後は離れることなく接近し、最終ラップのバックストレートで逆転のチャンスが来る。スリッパから抜け出し130R手前でアウト側に並びオーバーテイクを試みるが人工芝にタイヤを落としてスピン。コントロールを失いクラッシュをしてしまった。

Position	No	Name	Car	Total Time
1	5	角田 裕毅	HFDP/SRS/コチラレーシング	21' 21.681
2	1	小高 一斗	FTRS スカラシップ F4	21' 25.758
3	6	名取 鉄平	HFDP/SRS/コチラレーシング	21' 28.050
33	62	小倉 祥太	DENSO ルポーセ JSS F4	1 Lap

第6戦 決勝レース 天候:晴れ 路面:ドライ 順位:10位

5月20日

第5戦のクラッシュの影響でタイヤにダメージを負ったが、4本交換をして最後尾から追い上げレースをするか、一番傷みの激しいタイヤの1本交換にとどめて我慢のレースでポイント獲得を目指すかの判断に迫られた。結局、ポイント獲得を目指し右フロントタイヤの1本交換で決勝に臨むことに。

スタートは普通に行きポジションキープのままオープニングラップをクリア。しかし2周目に36号車に仕掛けられて1コーナーでアウト側から抜かれる。次に25号車ともバトルになり一度シケインで先行を許すものの、翌週の1コーナーではアウト側から抜き返す。しかしその直後、前方で3台が絡む大きなアクシデントが発生してしまう。10番手を走行中にセーフティカーランとなる。リスタートを待つものの回収作業には時間がかかり、規定によってレースタイムが30分を経過したところでセーフティカーリードのままチェッカーフラッグが降られレースは終了した。

結果10位フィニッシュとなった。

Position	No	Name	Car	Total Time
1	5	角田 裕毅	HFDP/SRS/コチラレーシング	31' 25.483
2	1	小高 一斗	FTRS スカラシップ F4	31' 26.828
3	7	大滝 拓也	SRS/コチラレーシング	31' 27.635
10	62	小倉 祥太	DENSO ルポーセ JSS F4	31' 33.482